

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型のサービス展開の為さん愛の理念を作成している。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の朝礼で唱和する事で一人ひとりの意識を高め毎日のケアに活かしていけるよう心掛けている。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	来訪される方々が見える場所に理念を掲示し面談などの際には理解を求めようとしている。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々が気軽に立ち寄って頂けるよう、交流会を行い親交を深めている。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の神幸祭や納骨堂の掃除等への参加をし、交流を深めている。		
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者のいる家庭からの相談や心配事にはその都度対応するよう心掛けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を行う事により日常のサービス提供を客観視できるので、現状の把握及びそこから見出した課題をミーティングで話し合い改善への取組みに活かしている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々や利用者のご家族の参加により定期的に推進会議を開催し当事業所での取り組みや現状報告等を行っている。そこで出た様々な意見を取り入れサービスに活かしている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事あるごとに介護保険課の窓口に行き意見交換を行ったり、助言を頂きサービスの向上に役立てている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	日常的に学ぶ機会が少ない為、職員の勉強会を行い理解を深めている。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎日のケアの中で何気なく行われる虐待について話し合いを持ち防止に努めている。.		
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者ご本人やご家族に解り易い説明を行うように心掛け、ご本人やご家族の不安や疑問に対し常に配慮している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が気軽に意見や不満、苦情等を言い易い雰囲気や環境作りを行い傾聴を心掛けている。また、意見等に対してはその都度ミーティングを開き対処について検討している。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月さん愛新聞を発行すると共に面会の際に日々の暮らしぶり等の現状報告を行い困っている事や生活状態の変化時には都度電話連絡を行っている。		家族会を年2～3回行いご家族との信頼関係を深めている。
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族等から意見や苦情があれば、その都度検討し対応している。		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常的にコミュニケーションを取り、意見の出しやすい環境作り努めている。また定期的に話し合いの場を設け、提案や意見を必要に応じ運営に反映させている。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者やご家族の要望に対し出来るだけ対応している。その為職員の調整を行っている。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者や職員との関係作りを大切に、固定した関係を避けみんなで仲良く過ごす関係作りを行っている。		
5. 人材の育成と支援				
19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮し生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されている	職員一人ひとりの能力が活かせるよう職場環境を整え、不安等には相談や助言する配慮を行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	人権教育・啓発活動 法人代表及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	利用者一人ひとりに安心と尊厳のある生活を提供する為、関わる職員の意識の向上に常に取り組んでいる。		今後、人権について勉強会を行っていきたい。
21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に積極的に参加する機会を設け職員の質の向上に努めている。		今後も研修等には積極的に参加していきたい。
22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に参加し他事業所との交流を深めて。情報交換を行い見習うべき点は積極的に取り入れていくようにしている。		
23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	日頃からコミュニケーションを密に取り、悩みや不安を打ち明け易い関係作りに努めている。また定期的に懇親会や慰労会を催し職員同士の交流を図っている。		
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の職員の状況把握に努め自己研鑽に対し実績値する評価を行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学や面談を通じゆっくりと話の出来る時間を設け安心感を持っていただけるように努めている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談や電話での相談などに柔軟に対応し、ご家族の思いやニーズを相手に望ましい形でゆっくりとお聴きする機会を持ち、信頼関係作りに努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談の際等に現在の状況を聴き取り、ニーズの把握に努めている。また入居の必要性がない場合にを含め様々なサービスがある事を説明している。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居が決まった後はまず体験的な来所や宿泊を重ねる事で雰囲気を味わって頂き、無理のないよう心掛けている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	出来る事、出来ない事を明確化し、出来る部分の拡大を図りながら、共に生活する上で、達成感や充実感を味わえるよう支援している。		
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とは情報交換を密に行う事で日々の暮らしの出来事や気付きの情報共有に務め、ご本人と一緒に支えていく為の協力関係が築けるよう心掛けている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	まずご本人とご家族の生活歴を念頭におき考慮した上で、関係が途切れないよう誕生日会などの行事に招待したり、来訪時には両者の潤滑油になるよう心掛けている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	生活が一変した状況の中で、出来るだけ混乱を防ぐ為にご家族や知人の方に訪問を要請している。また希望により外出、外泊を取り入れながら一人ひとりのライフスタイルを尊重している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆で楽しく過ごす時間や、気の合う仲間同士で過ごせる場面作りをする等利用者同士の関係が円滑にいくよう職員が調整役になり支援している。		利用者間のトラブルが生じた場合は個別に十分話を聴き、相談に乗る等互いにダメージが残らないよう配慮している。
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	様々な事情で退去となった場合でも「いつでも気軽にご相談して下さい」と伝え、継続的な付き合いが出来るよう心掛けている。		また転居や入院になった場合にはリロケーションダメージを最小限にとどめる為情報交換を活発に行ったり、お見舞いに行ったりしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>常日頃より会話やコミュニケーションを取る中でご本人の思いを組み取り把握する事に努めている。生活歴を十分に理解し、意思疎通が困難な方にはご家族等から情報を得るようにしている。</p>	
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居が決まった時点よりご本人及びご家族等から綿密にアセスメントをとり入居後も本人との会話の中から生活習慣などを聞き出すなど把握に努めている。</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>利用者一人ひとりの生活の流れを理解すると共に行動や言動、出来る事出来ない事を注意深く観察しご本人の全体像の把握に努めている。</p>	<p>チームケアを充実させ、利用者の出来る力、わかる力を見落とさず発見していく事に努める。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者やご家族には日頃の係わりの中でその思いや意見を聞いたり、サービス担当者会議へ参加していただく事により意見を反映させるようにしている。</p>	<p>またアセスメントを含め、職員全員で意見交換やモニタリングを行っている。</p>
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者の状況に変化がない場合は一定の期間を置いてモニタリングを行い、プランの見直しや継続を行っている。また状況の変化が生じた場合には都度モニタリングを行うと共に、ケア会議を開催し意見等を聴取した上でプランを作成している。</p>	
40	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>各利用者ごとにケア記録を作成し、日々の暮らしの様子や本人の言葉、身体状況などを記録している。毎日の記録を基本にご本人の状況を総合的に把握できるよう努めている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族からの要望に対しては状況に応じ通院や急な外出への対応など、臨機応変に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署による避難訓練や、近隣の青年団を招き盆踊りを行ったりと地域とのふれあいを持つ機会を設けている。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	当事業所はグループホームといった特性から他のサービスの活用は出来ないが、今後必要や希望に応じ民間事業等、介護保険外のサービス利用があれば利用したいと思っている。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在特に行っていない。介護予防の利用者がいない為、地域包括センターとの協働はないが、今後機会があれば関係を築いていきたい。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他、利用前からのかかりつけ医での医療を受けられるようご家族と協力し通院介助を行っている。		2週に1度内科医、毎週歯科医の往診を受けている。
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の症状が著しい場合や専門医への受診が必要と思われる場合はご家族に相談し専門医へ受診している。		主治医とは詳細を相談する等し関係作りを行っており、診断後治療の必要がある場合は継続し支援している。
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護ステーションとの契約に基き、日頃の体調管理や医療面での相談、助言を行って貰っている。		毎週訪問による個々の健康管理やりハビリを受けている。また体調に変化があった場合など24時間体制で電話での相談が可能である。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院した場合は主治医、ご家族、病棟の看護師等と情報交換を行いながら連携し、早期退院に向けての協力体制を取っている。		入院によるダメージを最小限にする為、主治医や看護師にその利用者の普段の状況や特徴などを伝えている。
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時から今後想定される様々な状況について話し合い、それを踏まえて主治医とも連携を図っている。状況の変化に応じ、その都度ご本人やご家族の思いや意向をお聴きし話し合いを行っている。		
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	今現在までは病状の悪化などで緊急入院しターミナルケアの実績はないが、今後当事業所でもターミナルケアについて真剣に考えていく必要性は感じている。高齢者である以上、今後予測される重度化や終末期に対しご家族や医療機関との連携を図っていきたい。		
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者やご家族の状況により住み替えが必要になった場合には、綿密に情報交換や話し合いを行う等し、ご本人の負担の軽減に努めている。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	自尊心への配慮として個人的な内容を含む事柄は個別に対応している。全職員が個別性や守秘義務に対する理解をし、個人的な問題を他の場所で話題にする等の行為は禁じている。		
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者への対応は同じ目線でゆっくりと傾聴するようにしている。また一人ひとりの状態や性格を把握し、ご本人が感情をありのまま表現し易い環境作りに取り組んでいる。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日を大きく時間分けしているが、一人ひとりのペースを大切に、それに合わせた対応を心掛けている。またプランを計画する際もご本人のペースに十分な配慮をしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご本人のこだわりや好みを把握し、その人らしいおしゃれを楽しめるようお手伝いしている。また一緒に買い物に行ったりと外出の機会を多く持つことで自然と自身で気を配る様になる工夫をしている。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材選びや献立決め、調理、準備や片付け等、出来るだけ利用者と一緒に行っている。食事の時間は音楽を流す等明るく楽しい雰囲気作りをしている。		苑庭の畑を活用し、野菜作りや採取したものをを使った料理など利用者と一緒に取り組んでいる。
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好品については、長年の生活習慣である為原則として抑制はしていないが、疾病等でコントロールを要する場合は量の調節を行っている。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご本人の生活リズムから排泄パターンを把握しスムーズに排泄できるよう支援している。またトイレでの排泄を大切にしながら、ご本人に無理のないよう必要に応じ紙パンツやパット類も使用している。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望があればいつでも入浴できる体制を取っている。一人ひとりの気持ちや習慣に合わせた支援を行っている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	心地よい睡眠がとれる様に日中の活動や居室の環境作りに配慮している。		眠剤を使用している方には睡眠状態を把握し、日中の活動の妨げになっていないかを確認している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	趣味や習い事を取り入れ、ご自分の興味のある事に参加できるようにしている。カラオケや大正琴、手芸や畑仕事など、個々の好みに合わせ、色々な計画をしながら支援している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の出来る利用者については、自身によりある程度の金銭を保有している。またやや管理に問題があると思われる場合もご家族の理解を得て少額程度は持てるようにしている		週に1度の買い物日には一緒に買い物を楽しんでいる。また会計の際はご自分で支払って頂けるよう支援している。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所の周辺環境がよく、日常的に屋外の散歩などが楽しめるようになっている。また外出を好まない利用者も週3回の足湯で気分転換を図ったりと苑庭での過ごし方を工夫している。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	気候や季節に合わせて、花見や神社参拝、外食や魚市場へ買い付けに行ったりと年間を通し様々な所へ行けるよう計画し支援している。		
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者が希望する時には必ず援助している。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族や知人の方等が訪問しやすい環境作り力を入れている。また施設内でも一緒に過ごしやすい雰囲気作りをしている。気軽に来ていただけるようコミュニケーションを取り関係作りをしている。		遠方に居住しているご家族等には、宿泊をして頂く等、柔軟に対応している。
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会やすぐに手にとれる場所にマニュアルを置くなど、身体拘束に対し全職員の意識を高め理解を深めている。また利用者の心身の安定を図る事に努め、常に問題行動の減少に取り組んでいる。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	当事業所は鍵をかけないケアを心掛けており、玄関の扉など、風を通すため開放している事が多い。またテラスには自由に出入りができ、閉じ込めないケアを実践している。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者一人ひとりの状況に合わせるよう日頃から心掛けたら十分な見守りを行い、安全に過ごせるよう配慮している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	日常生活を送る上で、不自然な環境での違和感を与えないよう家庭的な雰囲気大切にしながら、個々の利用者の行動パターンに気を配り危険を回避している。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の利用者の状態を把握する事でその都度対処法を検討し事故防止に努めている。		
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応マニュアルを作成しすぐ手にとれる場所に置いている。また定例のミーティング等でも、ひやりはっと報告書を中心に全職員で話し合う機会を持ち予防策を検討している。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	非常災害に対する措置の概要の中で、訓練の実施や地域との協力体制、非常時の対応などを明記し、定期的に避難訓練も実施している。また職員の緊急時の連絡体制も確保できている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居の際は勿論、その都度ご家族等には日常生活上様々なリスクがある事を説明している。個々の状況や行動パターンを把握し、声掛けや見守り等で危険回避に努め、利用者の行動は出来るだけ制限しないよう心掛けている。		
78				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の生活の中で顔色や活気、食欲、訴え等を注意深く観察し、適宜バイタルチェックを行い早期発見に努めている。また体調の変化などはご家族や主治医へ早急に報告するようにしている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各利用者ごとに薬ケースを作り整理する事で飲み忘れなどを防止している。またケースに説明書を入れており、すぐに確認できるよう工夫している。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	主治医と相談しながら、食事内容の見直し、水分量の調節、必要に応じ下剤を用いコントロールを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時、毎食後や就寝前には口腔洗浄を呼び掛けており困難な利用者に対しては援助をしている。		週1回の歯科医の往診時、口腔状態の管理、必要があれば治療を行っている。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量は必ず記録をしている。好き嫌いにに対し献立や調理法を工夫したり、嚥下不良の方にはとろみをつけるなど、状態を観察、把握し個別に支援している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染対策マニュアルを作成し感染経路や原因を把握する様心掛け感染予防に努めている。また外、内部での勉強会を行い感染した場合の対処法なども実践できるよう指導している。		利用者、職員共に毎日の手洗い、うがいを徹底しており、来訪者にも玄関に消毒液を設置し使用を促している。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	購入する量を調整し、極力残りが出ないように工夫している。食器や調理用具の管理は十分に洗浄した後殺菌乾燥している。		
82				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設全体を開放し、建物内は勿論周辺環境も親しみやすい雰囲気作りを心掛けている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自室は今迄の生活習慣を取り入れご本人の落ち着く環境作りをご本人やご家族と相談しながら行っている。また共有スペースについては家具の配置を工夫したり四季の草花を飾ったりと心地よい空間作りを心掛けている。		
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各々がお気に入りの場所で思い思いに過ごされている。また気の合う仲間同士で集い談笑する定番の場所も出来ている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際にご本人やご家族等になるべく使い慣れた物を持参するように勧めている。本人の好みや生活歴に十分配慮し、家具の様式や配置等は相談しながら行っている。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日中は出来るだけ外気を取り込み自然な空間で過ごして頂き、衣服や空調の調節などに配慮している。また共有スペースには空気清浄機を取り入れている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は出来るだけ段差をなくし、廊下やトイレ、浴室内などには手すりを設置している。また共有スペースでは移動の妨げにならないよう家具の配置等を工夫している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々の利用者の出来る事、出来ない事を十分把握し、出来ない部分への援助は勿論、出来る部分を積極的に活かし伸ばす事で日常生活の自立ができ、満足感を得られるよう支援している。		
89	建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	広々としたウッドデッキを設置する等し生活空間を大きく取っている。また苑庭にはグランドゴルフ場や足湯を活かした地域との交流スペース、畑等があり、季節を通して利用者が楽しめるようになっている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
100	職員は、生き活きと働けている		ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎日がゆっくり過ごせるよう周囲の環境作りや、出来る事はやって頂けない事は一緒に行い、1人ひとりがその人らしく過ごせるようさん愛の理念を念頭におき、職員全員日々精進しています。美味しい食事をすばらしい自然環境の中、利用者と職員が楽しい会話の中で食事している風景は、安らぎと心地良さを感じてもらえます。また、足湯やグランドゴルフ場では、地域の方々との交流も活発に行なっています。